POKEMARU MAGAZINE

FREE paper

AD

現場で使えるモバイルシステム。
ＰＣとの連動で業務の効率化も図れます。
現場を支える福祉用具貸与事業者向け
業務支援システムの登場。

モバイルが変える あなたのワークスタイル！

Point1 スケジュール管理も楽々

現場の「見える化」でチームWORKもUP!

Point2 ふくせん標準書式をサポート

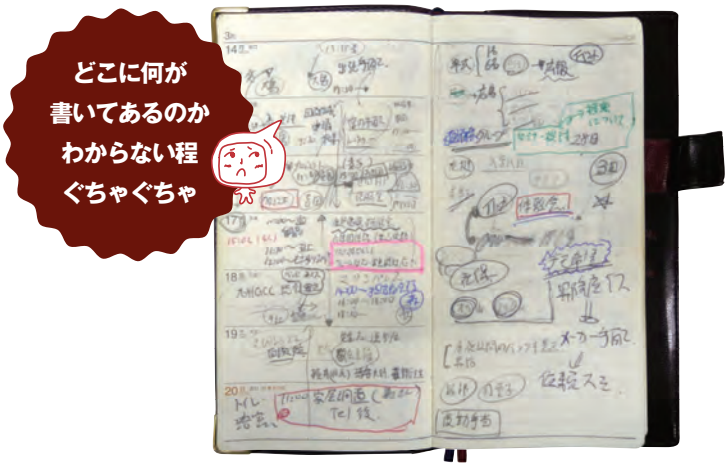
個別援助計画に基づく確実なモニタリング。

Point3 効果を実感！?

現場の声をお届けします。

Point 1 スケジュールの作成から、現場での対応履歴、写真や音声などの記録機能まで

現場の「見える化」がサービスを向上させます。



PC上のスケジュール管理画面一例 ▶

タスクごとに優先順位を把握しスケジュールを立てた上で、それらを効率よく処理することが結果に繋がります。ところが、次々増える予定を追加するだけの手帳だと、整理が難しく他人が見ても何を書いているのかサッパリ。これでは結果が出せないのも当然です。結果を出すためには整理された情報が必要不可欠なのです。

「ポケまる」なら全スタッフのスケジュールを一括管理。複数スタッフのスケジュールを同時に閲覧できるので、誰がどこで何をしているか一目瞭然。またお客さまごとの対応履歴情報も共有できるので、スタッフ全体がレベルアップするだけでなく、もしもの時のピンチヒッターでも的確に対応することが可能になります。
お互いに情報を管理し、支えあうことで、競争意識とチームワークが芽生えます。

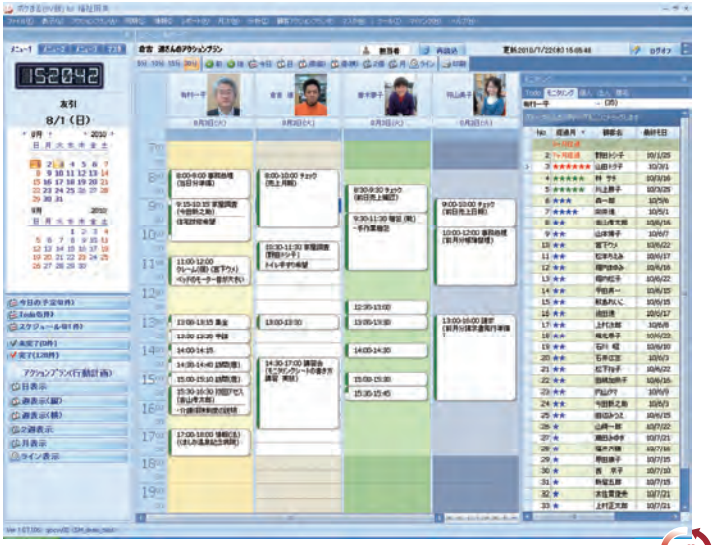
現場にて、端末（スマートフォン）を活用することで、スケジュールの更新や管理を簡単に行えるだけでなく、手書きメモ入力、写真・音声など充実した記録機能で正確でわかりやすい対応履歴を作成することができます。

「ポケまる」がスタッフのスケジュールや現場の動きを「見える化」することで、社内スタッフのレベルアップを促進し、サービスの向上に繋げます。

◀ モバイルデバイス上のスケジュール管理画面一例

その他のオススメ機能

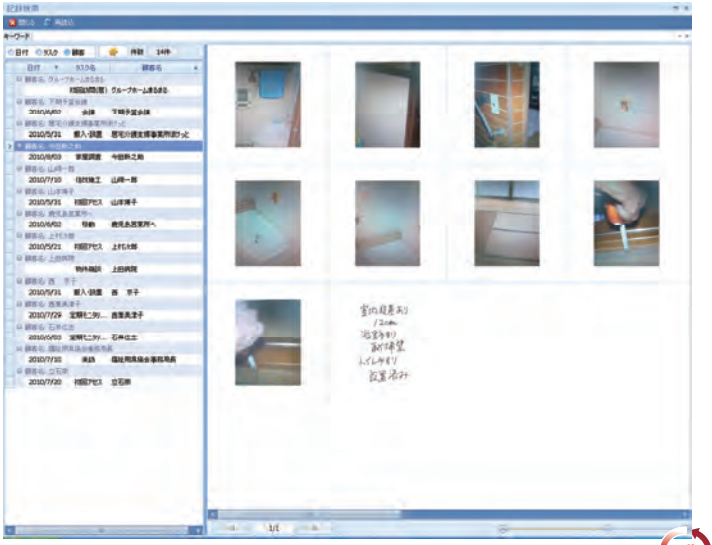
≫ スケジュール作成支援機能



表示されたスケジュールは日表示、週表示、月表示と必要に応じて切り替え可能。
スケジュールはPC画面上の「スケジュール作成支援機能」によりTodoデータやモニタリングデータをカレンダー上にドラッグ&ドロップするだけで簡単に作成することができます。
サーバーと端末（スマートフォン）との同期をとることにより、現場でのスケジュール確認、登録はもちろんモニタリング状況の確認、登録も行うことが出来ます。

同期

≫ 日付別・タスク別・顧客別 記録検索機能

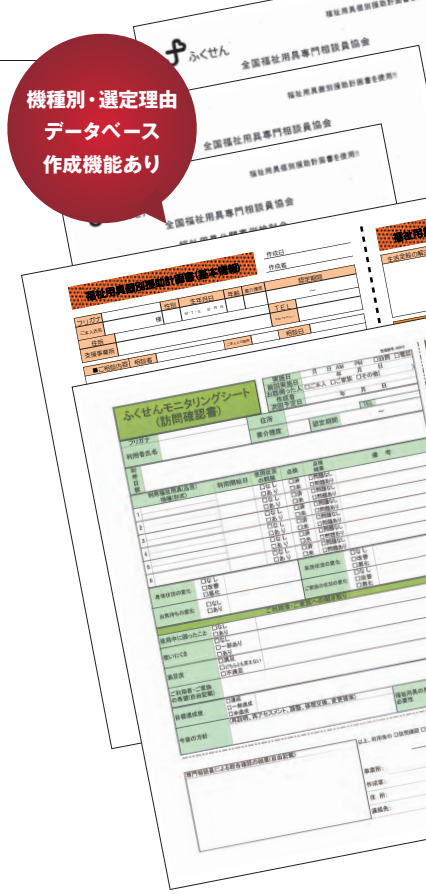


現場にて端末（スマートフォン）を使い、写真、音声、手書きメモ等をタスク毎に簡単に記録することができます。
サーバーと同期をとることによりPC側でも日付別、タスク別、顧客別に現場の状況を確認することが出来ます。
各種キーワードによる検索に対応。家屋調査、住宅改修事例、モニタリング状況、機器点検等、「現場の見える化」「スタッフ間の情報共有」「事例検討会」等に役立ちます。

同期

Point2 ふくせん※開発の福祉用具個別援助計画書・モニタリングシートを完全サポート！

現場で使えるケアカルテ！



全国各地へ広がる取り組み 個別援助計画の作成

福祉用具専門相談員の多くは、就業時間のほとんどを会社（事務所）以外の場所で勤務することが多い職種です。スタッフは確実なスケジュール管理、記録、報告、連絡、業務管理を求められ、帰社後の事務処理はますます増えてきています。

このような環境の中で、福祉用具サービスには、個別援助計画の作成は義務付けられていませんが、サービスの質の向上には作成が必要という考え方が広まり、福祉用具専門相談員協会が作成した書式を基に現在、全国各地で計画書を作成する取り組みが増えています。

▲個別援助計画ＰＣ画面（左）モバイル画面（右）

▲モニタリングＰＣ画面（左）モバイル画面（右）

確実なモニタリングで 利用者ごとの変化も把握

「ポケまる」は福祉用具専門相談員協会が開発した標準書式イメージをそのまま入力できます。

また端末（スマートフォン）と同期をとり現場で個別援助計画書の内容（基本情報、相談内容、身体状況、介護環境、居宅サービス計画、住環境、課題・目標、選定福祉用具、留意点）を確認しながら確実なモニタリング（利用目標に対する達成度、身体状況、利用状況の変化の把握）を実施することを可能にしています。

さらに、登録した記録は利用者毎に時系列に表示され前回実施したモニタリング状況と比較検討する事で利用者の変化を確実に把握できます。

サービスの質を 「見える化」する

選任のモニタリング担当者がいる場合でも担当営業は手元の端末で現場にいながらモニタリング結果を共有することが出来ます。

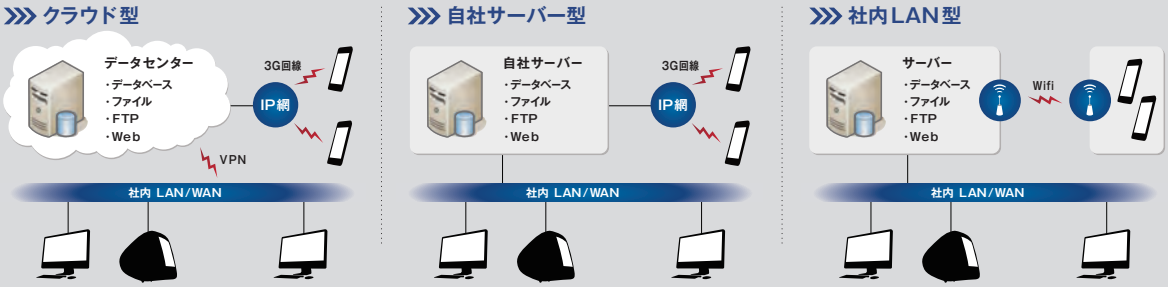
事業所ごとに選定機種別選定理由データベースも作成できます。作成の効率化、標準化に役立ちます。見えにくいモノ（サービスの質）を見える化する取り組みが今求められています。

※全国福祉用具専門相談員協会

システム構成

ユーザーの利用形態・ニーズに合わせた３つのモデル

クラウド型、自社サーバー型、社内ＬＡＮ型の３つのモデルを提供。サーバー管理、運用コスト、セキュリティ、同期タイミング、基幹システム連動等、お客様の利用形態やニーズに合わせてシステム構築できます。



対応デバイス

当社指定スマートフォン

iPad

機能一覧

- スケジュール管理
- ｔｏｄｏ管理
- 住所録・電話帳
- 地図・ＧＰＳ機能
- メモ帳
- 電話
- インターネット接続
- 電子メール機能
- グループウェア連携
- 業務システム連携

動作環境（クライアント PC / パソコン本体）

- **OS：**Windows 7 / Windows Vista / Windows XP
- **CPU/メモリ：**お使いの OS が推奨する環境以上
  Windows XP では 1GB 以上
  Windows Vista / Windows 7 では、
  Core2Duo 以上、2GB 以上を推奨
- **ハードディスク：**10GB 以上空き領域が必要
- **ディスプレイ：**解像度 1024×768 以上推奨
- **マウス：**必須
- **インターフェイス：**USB または Bluetooth
- **必要ソフト：**Microsoft.NET Framework 2.0 以上

●本 MAGAZINE の内容は、2010 年 9 月現在のものです。 ●クラウド型の場合、シンクライアント端末での対応可。 ●印刷帳票を出力するにはネットワーク上もしくはクライアントＰＣにプリンターが必要です。 ●Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。 ●記載された内容及び製品の仕様は、改良の為、予告なく変更する場合があります。
●Apple、Apple のロゴ、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone、iPad、Multi-Touch は Apple Inc. の商標です。

Point3 効果を実感！？導入事例で現場の声をお届けします。

福祉用具貸与事業者 / 株式会社芳野ケアサポート　マネージャー 岸田様 の場合

リアルな情報共有ができるようになりました。

個人からチームへ

これまで、口頭や紙ベースで調整していた業務が、それぞれのスケジュールを見ながら振り分けできるようになり、移動時間の短縮など部署全体の効率化が図れ、協力し合う意識が高まってきました。
また、利用者や家族、ケアマネジャーからの連絡や問い合わせなどにスムーズに対応できるようになり、日々の業務の「ムダ」や「ミス」が減っています。

“記録”の概念を変える!?

これまでの記録（文章）では伝わりにくい状況が、画像（動画）で利用者ごとに簡単に記録できるようになり、よりリアルな情報が共有できるようになりました。
福祉用具専門相談員に求められるスキルである、利用者の身体状況や生活状況の“変化”を捉えるということは非常に重要で、「ポケまる」を使うことにより、より精度の高いモニタリングが可能となります。状況の変化に合わせた細かな調整や新たなニーズへの対応がサービスの質の向上と言えるのではないでしょうか。

【ポケまる】の今後

日々変化していくビジネス（モバイル・通信）環境のなかで、帰社後の事務処理に追われる在宅訪問業務にとって、スマートフォンやシステムの有効活用は非常に大きなテーマだと思います。
「ポケまる」が、今後変化していく環境と共に進化し、生産性の向上と質の向上を実現するツールになることを期待しています。

福祉用具貸与事業者 / 有限会社リバティ　営業担当 栗林様 の場合

スピーディで適切な対応を可能にしました。

現場の見える化（写真、録音、メモ機能）

私は、現場で困難事例に遭遇した際に、スタッフや上司に相談することが苦手でした。そんな私が重宝しているのがポケまるの記録機能です。写真、録音、メモ機能をフル活用しています。家屋調査、アセスメント、担当者会議、搬入、施工など、業務の様々な場面で記録を取っています。現場の写真を利用者ごとに時系列で閲覧できることにより、スタッフや上司への相談がスムーズに行えるのです。自分だけで問題を抱え込むことは、仕事の効率を下げ、スピーディな対応ができなくなります。そして利用者やケアマネージャーへの解決策の提案が遅くなり迷惑をかけることに繋がります。困難事例を迅速かつ適切に解決に導くことは、利用者の信頼を得る第一歩だと思います。

情報の共有によるスピーディで適切な対応

ポケまる導入のおかげで、今では経験の少ないスタッフも現場で起こる問題をチームで解決できるようになりました。利用者情報（対応履歴、対応予定）を社内で共有できることでスピーディで適切な対応を可能にしました。利用者やケアマネージャーの信頼を得たことにより、利用者数もポケまる導入前より確実に増えてきています。

個別援助計画とモニタリングの実施

現在、ポケまるを使って個別援助計画を作成し、それに基づいたモニタリングを実施しています。現場で最新の情報を参照し、記録を行うことで作業の効率化が図れています。今後は、個別援助計画作成により利用者の状態像、選定理由を明確にし、ケアマネと連携を取りながら利用目標に対するモニタリングを確実に実施したいと考えています。

お申し込み・お問い合わせについて

お問い合わせ先・販売

株式会社スマート（http://smartco.jp/）

本社 〒861-2202 熊本県上益城郡益城町大字田原 2081番地10
TEL.096-386-2330 / FAX.096-386-2335

鹿児島ラボ 〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町 31-6-1F
TEL.099-821-1155 / FAX.099-252-0007

webで更に詳しい情報が手に入るほか、お問い合わせ、お申し込みもできます。
http://smartco.jp/inquiry/

開発

財団法人くまもとテクノ産業財団（http://www.kmt-ti.or.jp/）
〒861-2202 熊本県上益城郡益城町大字田原2081番地10

株式会社アルファシステム（http://www.alphasystem.co.jp/）
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町 7-1-24 松下ビル5F